



ユニバーサルサービス政策委員会（第38回） ご説明資料

2024年12月20日



① 第8次PSTN－LRICモデルによる補填額算定値と第9次IP－LRICモデルによる補填額算定値の加重平均値

【弊社回答】

- 令和7年1月以降、PSTN網からIP網への移行が完了している予定であることを踏まえれば、令和7年1月以降の電話のユニバーサルサービス交付金に係る補填額の算定については、第8次PSTN-LRICモデルを用いず、第9次IP－LRICモデルのみで算定することが適当。



② 第9次IP-LRICモデルの適用に際し、実際にはメタル回線で設置されている加入者回線を光回線とみなすかどうか

【弊社回答】

- IP網への移行後の音声接続料の在り方 答申（令和6年6月17日）において、「接続料算定方法の適用期間においては、第9次IP-LRICモデルの適用に当たり、実際に設置されている回線種別（メタル回線）に基づき接続料を算定することが妥当」とされている。
- そのため、**ユニバーサルサービス交付金に係る補填額の算定においても、接続料算定と同様に、メタル回線として算定することが適当。**
- ただし、LRICは、現時点で利用可能な最も低廉で効率的な設備と技術を前提として、通信網を構築した場合の費用を算定する方式であることから、**令和7年4月以降の算定に当たっては、9次IP-LRICモデルの加入者回線選択ロジック**（メタル回線と光回線の経済比較又はそれに相当する比較により低い方を採用）**の適用について検討すべき。**



③ モデル外補正の実施の有無（第9次IP－LRICモデルのアクセス網の設備配置ロジック）

【弊社回答】

- 第9次IP-LRICモデルにおいて、アクセス網の設備配置ロジックの一部が十分に効率的なものとなっておらず、本問題に対処するために、令和6年12月までに限定した暫定的な対応としてモデル外補正が行われた認識。
- 現時点においても、アクセス網の設備配置ロジックの一部が十分に効率的なものとなっていない状況であること、ユニバーサルサービス料の利用者負担抑制の重要性の観点も踏まえ、令和7年1月から3月のユニバーサルサービス交付金制度に基づく補填額の算定に当たり、モデル外補正を継続することが適当。

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

